

# このまちですっと暮らし続けるために

## もっと住みやすいまちにしたい

### 香取市

#### 1 はじめに

香取市は千葉県北東部に位置し、東京都心から直線で約70km にあります。北部は利根川が東西に流れ、その流域には広大な水田地帯が広がり、南部は山林と畑作地帯を中心とした平坦地が北総台地の一角を形成しています。

人口約84,000人のうち高齢者が23,000人(高齢化率27.2%)となっており、要支援・要介護の認定を受け、介護サービスを利用される人も少なくありません。また、社会経済構造の変化に伴い、独居高齢者や高齢者だけの世帯が増えています。

市では平成18年に地域包括支援センターが介護福祉課内に開設されてから、認知症に関する相談が増えてきています。そこで、平成19年度に千葉県認知症地域支援体制構築モデル事業の委託を受け、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」に取り組むこととなりました。

#### 2 市全体の活動一覧

事業名	事業内容
ビジョン・計画	『高齢者保健福祉計画・第4次介護保険事業計画』の中に、認知症地域支援体制構築事業を盛り込んだ。 目標:「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくり」
コーディネーターの配置	<平成19年度> 香取市に1名 配置 <平成20年度> 市全体のコーディネーター1名のほか、モデル地区の内、2地区にコーディネーターを配置した。
香取市の認知症施策に係る評価・支援 (香取市認知症対策推進会議の設置・開催)	香取市認知症対策推進会議設置要綱を平成19年12月1日に制定 香取郡市医師会を始め、各関係機関等から推薦をいただいた18名に委員を委嘱 ● 香取市認知症対策推進会議の開催 モデル事業の推進と香取市の認知症対策を検討するため、香取市認知症対策推進会議を開催した。 <平成20年度> ・平成20年7月29日 <平成21年度> ・第1回会議 平成21年8月4日 平成20年度の事業報告・21年度の事業計画について ・第2回会議 平成22年3月26日 平成21年度事業報告及び評価
地域資源マップの作成	● 市域全体の介護・医療・福祉関係の事業者や機関のマップを作成 各戸配布行 38,000部

認知症に関する啓発活動



メモリーウォークの様子

- 『認知症メモリーウォーク・千葉 in 香取』の開催
  - ・平成20年10月19日 参加者:145人  
実行委員会の設置:19人 実行委員会の開催:全4回
  - ・平成21年10月31日 参加者:213人  
実行委員会の設置:19人 実行委員会の開催:全4回
- 香取のふるさとまつりにてPR活動実施
  - ・平成21年11月、市内の各地域自治区で行われたふるさとまつりにてチラシやパンフレット等配布
- 認知症よろず相談窓口の設置
  - ・グループホームの協力を得て、認知症について地域のより身近なところで相談できる窓口を設置。

地域支援のための基盤づくり



サポーター養成講座の様子  
(小見川看護学校)



認知症サポーターステッカー


- キャラバン・メイト養成研修会の開催
  - <平成19年度>
    - ・平成20年2月29日 参加者数 57人
  - <平成20年度>
    - ・平成21年1月20日 参加者数115人
- キャラバン・メイト養成研修会(フォローアップ研修)の開催
  - ・平成21年11月13日 参加者71人
- 認知症サポーター養成研修会の開催
  - <平成20年度>
    - 開催回数:20回 受講者:683人
  - <平成21年度>
    - 開催回数:34回 受講者:738人
  - ・小・中・高等学校でのサポーター養成講座
    - 開催回数:6回 受講者:258人(教諭、生徒)
- 認知症サポーターステッカー作成
  - 一般公募により、認知症サポーターステッカー作成。
  - サポーター養成講座を修了した個人・商店・事業所に呼びかけサポーターであることが分かるように、店頭などにステッカーの掲示をしてもらう。
- 介護ボランティアの育成
  - 介護ボランティア講座を開催
  - 【内容】①高齢者やボランティアに関する講座を実施  
②施設ボランティアの実際と体験
  - ・佐原コース
    - ①平成21年11月20日 ②平成21年11月27日
  - ・小見川コース
    - ①平成21年11月28日 ②平成21年12月5日

専門職への研修会の開催



センター方式研修会の様子


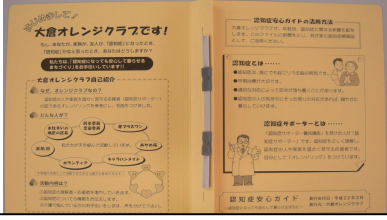

- センター方式研修会を開催
  - 【第1回】「センター方式の基本:シートの使い方」
    - 開催日 平成20年1月26日
    - 参加者 73人
  - 【第2回】「センター方式の実践:利用者の理解」
    - 開催日 平成20年2月20日
    - 参加者 71人
  - 【第3回】「センター方式の実践:情報の整理と共有化」
    - 開催日 平成20年3月19日
    - 参加者 71人
- ※実参加者数 75人 延参加者数 215人

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ケアマネージャー勉強会の開催 【第1回】・平成20年12月9日 参加者:32人 【第2回】・平成21年1月14日 参加者:22人</li> <li>●市内の医師を対象にサポート医によるかかりつけ医研修会を開催 ・平成21年9月9日、平成21年10月14日 2回1コースで実施 参加者10人</li> </ul>
<p>認知症の人及び家族への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認知症家族のつどい(出前交流会)の開催 平成20年10月15日 参加者:17人 ⇒香取市で組織化され、家族会「白ゆりの会」発足</li> <li>●家族会「白ゆりの会」の継続 自主的な活動ができるよう支援。奇数月に1回、会を開催している。</li> </ul>
<p>地域見守りネットワーク</p>	<p>『香取市見守りネットワーク事業』との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●香取市見守りネットワーク事業(平成20年12月1日施行) (目的) 援護を要する高齢者及び障害者が、慣れ親しんだ地域において自立し、安心した生活を送るため行政と関係機関が地域との連携によるネットワークを形成し、地域全体で要援護者を見守る体制を確立するとともに、虐待及び徘徊等による事故の防止並びに災害等緊急事態の支援に備える。 ⇒地区内の相談ルートを検討にあたり、本事業をうまく活用した取組みになるよう留意した。</li> </ul>
<p>認知症予防活動</p>  <p>野田地区ウォーキングコース</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●野田地区ウォーキングコース作成 認知症予防を目的としたウォーキングコースを検討してコースマップを作成。お楽しみ会での説明、青年館へ掲示することで周知を図った。</li> <li>●野田地区お楽しみ会開催 認知症予防を目的とし、70歳以上の高齢者を対象に、回覧や高齢者クラブ役員の呼びかけにより集いを開催。</li> </ul>
<p>モデル地区の選定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内5地区をモデル地区(大倉・佐原新宿・野田・府馬・住金団地)と選定し、より地域に根ざした認知症支援の活動を目指した。 (選定理由) ・拠点となりうる施設がある ・行政区としての規模 ・地域の現状 (住金団地に関しては、平成21年度に地域から希望があり、選定となる) ※活動の詳細は後述の「各モデル地区での活動」にて記載。</li> </ul>

### 3 各モデル地区での活動

#### 【各地区の主な取組内容】

大倉地区	佐原新宿地区	野田地区	府馬地区	住金団地
<p>● <u>地区内の資源の掘り起こし</u> 地域支援会議委員の協力を得て、10地区それぞれの地域における物的資源や人的資源の掘り起こしを行った。今後作成する地域資源マップに掲載予定。</p> <p>● <u>巡回認知症講座の実施</u> 各地区ボランティア団体に向けた「巡回認知症講座」を開催した。</p> <p>● <u>認知症の知識普及</u> サポーター養成講座を数多く開催した。</p> <p>● <u>支援会議委員を選出、大倉オレンジクラブ結成</u> 認知症の理解者・応援者を増やす活動を継続して行う</p> <p>● <u>認知症あんしんガイドの作成</u> (各戸配布) オレンジクラブが年数回、認知症や知識に関する新聞を発行・配布。 ファイルに追加する</p>	<p>● <u>個人への支援ネットワーク構築への取組</u> 配食サービスの導入、民生委員・町内会の巡回、金銭管理面での関わり、医療面の指導、啓発活動</p> <p>● <u>地区の特性を生かした支援体制の構築</u> 個人へのネットワークを基に、地域の見守りへと展開。 地区で活動している人から委員を選出。 地域の中で認知症の人を支えるための協力者になってくれる人を作り、ネットワークの構築を行う。</p> <p>● <u>認知症あんしんマップの作成</u> (各戸配布)</p>	<p>● <u>地区コーディネーターの配置・支援会議の開催</u> ・地域住民と認知症対策について話し合う場を作る。</p> <p>● <u>認知症の知識、事業の啓発・普及</u> ・サポーター養成講座の開催(対象) ・小見川高校 ・地区住民</p> <p>・各世帯への認知症に関するパンフレットの配布</p> <p>・地域の集会への参加 (役員会、高齢者クラブの集まり、各世帯の代表が参加する常会)</p> <p>● <u>相談ルートの構築(マップ)</u> ・地区内の相談体制の構築。 ※地域の組織、地域包括支援センター・地域に存在する施設で構成。</p> <p>● <u>お楽しみ会の開催</u> ・地域高齢者</p>	<p>● <u>地区コーディネーターの配置・支援会議の開催</u> ・地域住民と認知症対策について話し合う場を作る</p> <p>● <u>認知症の知識、事業の啓発・普及</u> ・商店街、地域組織にグループホーム職員が講師として、サポーター養成講座を数多く開催</p> <p>・地域住民全戸へ事業周知のチラシ配布</p> <p>● <u>相談員の選任</u> 相談ルートの構築を目指し、支援会議のメンバーが地域の相談員となる</p> <p>● <u>府馬地区危険箇所及び注意箇所マップの作成</u> (地区内グループホームに掲示)</p> <p>● <u>グループホーム(拠点)と地域活動の交流</u> ・地域高齢者が認知症になっても、可能な限り地域で</p>	<p>● <u>徘徊SOSネットワークの構築</u> ・地区住民に徘徊による行方不明者が出た際に、地区住民が協力し、捜索する体制の構築を目指す</p> <p>・活動協力者を募り、会議の開催</p>

	<p>のつどいを開催する中で、認知症の予防等の知識を啓発</p>	<p>生活ができるように、グループホームと交流を持つことで、地域組織の認知症の理解を目指す</p>	
	<p>●野田地区ウォーキングコース作成 認知症予防を目的としたウォーキングコースを作成</p>		<p>支援会議の様子</p>

## 8 おわりに

今回の事業では、「認知症」をまだ住民の多くが課題として意識していない段階から始まりました。認知症について偏見と理解不足の中、活動への参加を促してもなかなか協力が得られず、試行錯誤の日々でした。

そのような中、1つ1つの活動で重きを置いたことは、地域に積極的に出かけ、住民と向き合うことです。自分たちの想いを住民に伝え、一緒に取り組む仲間や理解者を1人ずつ増やしていく。その繰り返しで少しずつ地区住民の気持ちを動かし、事業を形にしてきたのだと思います。

モデル事業を行った成果は、数字では現せない部分が多いのですが、各モデル地区の住民の様子やサポーター養成数、キャラバンメイトが教室を開催している姿などの活動をみると、認知症への理解は進んできたのではと感じているところです。

また取り組みを行う中で、いくつか課題も見えてきました。中でも、医療との連携に関しては、未構築の部分と言えます。住民の意識が高まっていくにつれ、医療へのニーズや相談体制の充実等の必要性も高まりを感じ、これからの課題と考えております。

今後はこのモデル事業の期間で関わった人たちが、香取市の認知症支援の土台となり、市全体の活動が充実していくよう取り組んで行きたいと思っております。

香取市 健康福祉部 介護福祉課  
佐原地域包括支援センター  
小見川地域包括支援センター